

## 第15回 東三河ビジネスプランコンテスト

テーマ

次世代型セキュリティ「B-PEASE」

〈 一般事業部門 〉

申込者

会社名・団体名

大阪経済大学 情報社会学部 中村健二ゼミナール

氏名（フリガナ）

井上 奈緒

事業プランの内容

本サービスはICT機器を利用したセキュリティサービスである。家に設置したタブレットから発するBluetoothの反応検知エリアに、ICT機器を所持した人物が入ると、居住者が不審者かを自動で判別し、居住者である場合はシステムがOFFとなり、不審者である場合は、専用のアプリを通じて通知される仕組みである。このことにより、機械的に監視ができるため従来のサービスに比べ低価格で提供することが可能である。

ビジネスプランのセールスポイント

（商品・サービスの特色、競合商品との比較など）

本サービスの強みは競合商品と比較して、家の中でもセキュアにしたい場所に設置が可能という点である。セキュリティは自動でON/OFFされるので、利用者の防犯意識に左右されることなく利用可能である。また、低コストでの導入が可能のため、多くの場所に設置ができる。他にも設置したWebカメラの動画を証拠として保存が可能であるため、被害後の犯人逮捕に繋がる。

申込者のアピールポイント

（技能・経験・ネットワーク）

提案者らは情報社会学部に所属しており、情報分野において長けている。また指導教員は、監視システム的设计・開発とアプリの设计・開発において多数の実績を保持する指導教員（IT業界で10年の実績）及び、システム開発会社関西総合情報研究所のサポートを確約している。そのため、システム開発に必要な全ての技術を保有しており、スムーズに開発を行うことが可能な環境をすでに構築済みである。

事業プランが想定している市場・ユーザー

本プランは、家庭内の子どもの監視へも活用可能な点、安価であるためサービスを利用しやすい点から、中・低所得層のファミリー層をターゲットとする。また1年度は愛知県を中心に販売活動をおこない、その後全国へと販路を拡大する。

競合商品（ライバル）

- ①ホームセキュリティサービスを提供する大手警備会社（ALSOK・SECOM）
- ②低価格重視の類似サービス

資金計画（一般事業部門応募の方は必須）

◇資金の使途

	金額（千円）	用途
設備資金	3,051	サーバー・開発費
運転資金	13,160	人件費・機器購入費
その他	1,000	広告調査費
合計	17,211	

◇調達計画

	金額（千円）	調達先
自己資金	3,211	預金
借入金	10,000	銀行
その他	4,000	ベンチャーキャピタル
合計	17,211	

支援して欲しい内容

1 資金調達

2 販路拡大

3 業務提携

4 技術支援

5 その他

提案者らは学生であるため、投資家・企業とのコネクションや資金調達についての知識に乏しい。そのため、計画通りに事業化を実現するためにも資金調達面での支援を希望する。